

# 宮古エフエム放送株式会社

## 第 22 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 2 月 7 日(火) 午後 6 時
2. 開催場所 宮古市栄町 3 番 35 号キャトル 5 階
3. 委員の出席 委員総数 :6 名  
出席委員数 :4 名  
◎出席委員 (敬称略)  
坂下 光明  
茂内 博彦  
伊藤 より子  
菊地 俊二

会社事務局側出席者 (2 名)  
坂本 和 (取締役放送局長)  
他事務局 1 名

4. 議題  
毎週火曜日 11:30~12:00 に放送している、宮古市の復興の今についてお伝えする番組「復興のつち音」1/31 放送分について 20 分程度聴いていただき、意見、質問、感想等を受けた。

### 審議の内容

#### 【感想】

宮古市で初めて津波避難ビルに指定された施設について話されていた。いくつかの要件を満たした建物が津波避難ビルになるということでしたが、今後、建て替えが必要な場合は、こう言った事も考える必要があると改めて感じました。

#### 【感想・意見】

番組のタイトルからハード面の整備をイメージしますが、災害公営住宅が完成しコミュニティづくりをどうするのか等課題となってくると思う。そういったソフト面も取り上げてほしい。長く経つと防災の意識が薄れていく。同じ事を繰り返さない為にも、サブタイトルをつけて次のステップへ向かっていくような情報を発信して欲しい。番組の構成ですが、途中から聴いた人でもわかるように、最後にポイントを繰り返しても良いと思います。

### 【感想・意見】

東日本大震災の地震直後に、会社ではメーカーで出しているマニュアルが非常に役に立ちました。会社であれば、こういったマニュアルがあると思うが、個人のお宅ではいざという時にマニュアルを見るという習慣がないと思うので、このような番組を定期的に放送する事は非常に役に立つと思います。番組の後半に、災害時の避難行動やアドバイスがありました。とても良い話なのに、アナウンスが早口で聞き取り難い。もっとゆっくり話してほしいと思います。

番組の中で曲を使用していたが、とても良い曲なのでタイトルなどの紹介があっても良いと思います。

### 【感想・意見】

震災について風化することが怖いので、思い起こすきっかけになる番組だと思います。インタビューに答えてくれている方(危機管理監)が、安易に津波避難ビルに避難すると人が溢れる事が考えられる。本当に必要としている人が避難できるように一人一人が考えて避難行動をとって欲しいという説明もあり、とても重要な事を気付かせてくれました。今後も他に津波避難ビルに指定されたら紹介して欲しい。

津波の時は垂直避難が大事だと言っていましたが、皆が自分の住んでいる地区の避難場所はどこか、もう一度確認してほしいものです。

東日本大震災について、忘れないうちに記憶を呼び起こしながら学び直すチャンスを作るような良い番組作りを期待します。

番組の構成ですが、時間調整のような曲の使い方をしているのが気になりました。番組後半の、災害時の避難行動やアドバイスをもっとゆっくり話していただきたい。

## 5. 審議機関の答申又は改善意見に対して取った措置及びその年月日

事務局より、東日本大震災の教訓を活かし、風化させないようこれらも番組を続けていきたいと思えます。タイトルやサブタイトルについては検討します。アドバイスに関するアナウンスはゆっくりする旨即答。

## 6. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合の公表内容等

公表方法 : 本社事務室に備置き  
          : 自社ホームページに掲載

公表内容 : 議事録を公表

公表年月日 : 平成 29 年 2 月 8 日